

# 会議（打合せ）報告書

会議(打合せ)の名称 又は議題	令和2年第26回 議会運営委員会		
報告者職氏名	主事補 小原 陽子		
日 時	令和2年9月11日（金） 午前10時04分	場 所	市役所本庁舎4階 大委員会室
出席者	出席者 血脇敏行委員長、柴田圭子副委員長、古澤由紀子委員、石井恵子委員、植村 博委員、中川勝敏委員、田中和八委員、秋谷公臣委員 議長、副議長 議会事務局 石井事務局長、萩原主査、小原 執行部 中村総務部長		
<b>【会議の概要】</b>			
議題 (1) 議場システムの不具合について			
《決定事項等》 (1) 議場システムの不具合について			
・ 議場を確認したところ、システムは電源が入らない状態だが、レコーダーの電源は入り、天井の收音マイクも使用可能で、ワイヤレスマイクの音声を録音することができたため、議場で会議を再開できる状態である。			
・ 本会議再開時間は午前11時15分とする。			

－開会 10:04－

石井事務局長：

おはようございます。急遽議会運営委員会を開催させていただくことになりました。会期に先立ちまして、血協委員長よりご挨拶をお願いいたします。

血協委員長：

改めましておはようございます。局長のほうからあったんですけど、急遽議会運営委員会が開催されることになりました。この後の審議について、慎重なご審議をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくをお願いいたします。

石井事務局長：

それでは、委員会会議につきまして、議事等につきましては血協委員長をお願いいたします。

血協委員長：

ただいまの出席は8名です。委員会条例第16条の規定により、定足数に達しております。これより、第26回議会運営委員会を開会いたします。

それでは、急遽この議会運営委員会が開かれるようになったわけですが、まず、それについて、石井事務局長より説明を求めます。

石井事務局長：

それでは、開会冒頭より大変申し訳ございません。実は、本日出勤しまして、議場システムの確認を行ったところですが、その際に、電源が入らないという状況になってございます。議場システムにつきましては、マイク設備はもちろん、カメラ設備もすべて一体として管理をするシステムでございますので、このシステムが立ち上がらないと、録音もできません。また、ネット中継もできません。そういうような状況で、早速業者のほうに連絡を取っておりますが、業者の到着が何時になるかわからないという状況でございまして、このまま議員の皆様は待機していただいても、本日の会議を開催できる見込みが現状では立っていないところでございます。また、業者が点検をした結果、明日会議ができるかという部分も、現時点では保証できるものではないというところがございまして、事務局といたしましては、本日の会議については完結することが難しい状況になっているということで、ここでは、延会等につきまして、皆様方のご意見等をいただければと思っておりますので、血協委員長、よろしくをお願いいたします。

血協委員長：

ただいま、議場システムについて局長より説明がございました。

石井委員：

質問です。今、議場の中は、エアコンも効いていて、照明はついておりました。それとはまったく別ということでございますか。

石井事務局長：

まったく別でございます。その辺は、管財契約課のほうにも、議場の不具合の点検という部分では確認したんですが、冷房もついております、電気もついておりますという中で、根本的な原因はシステムそのものというところで、今考えているところでございます。

石井委員：

今、開会の宣言だけ議長はされましたけれども、あの時には、マイクを使っていたように思われます。議場にセッティングしてあるマイクではなく、急遽用意されたマイクかなと思うんですけど、マイクと、カメラ、要するにネット中継はできませんけれど、記録として画像を残しておくということは出来るんでしょうか。

石井事務局長：

マイクにつきましては、今、生涯学習課よりアンプとポータブルマイクを用意しております。議場の中に聞こえるように応急措置で対応しております。また、傍聴席のほうから、秘書課にお願いをしまして、生中継はできませんが、後日録画をアップすることができるように手配をお願いしたところでございます。

石井委員：

そうしますと、議場のマイクではないけれど、臨時マイクを通しての発言が皆さんに聞こえる状況には今なっています。そして、画像を保存用として、記録として残しておくことはできますということで、できないのはネット中継だけ、あるいは会議録を、会議録は録音してあれば残りますから、ネット中継だけができないというふうな考えで大丈夫ですか。

石井事務局長：

会議録が、現状では取れない状況ですので、ICレコーダーで録っている関係がございまずので、そういった部分が事務局としては心配な点ではございます。

石井委員：

要するに、会議録が1番大事だということですね。会議録が記録として残らないと、ICレコーダーで録っているだけでは、途中で聞こえづらいとかいうことがわからないと、マイクで録っていても…。要するに会議録がきちんと残せないという心配があるということですね。事務局としては、わかりました。

長谷川議長：

今、事務局から説明があったように、復旧の見込みが立っていないという状況でございますので、私としては、延会を協議していただきたいと思っています。

柴田副委員長：

延会というのは、今日やらないで明日にという意味ですか。

長谷川議長：

執行部の確認をしないといけません、できたら明日にしていいただきたいと思っています。

柴田副委員長：

執行部、中村部長来られているので確認したいんですけど、今日急いで議決をもらいたいということで、今日の上程、今日議決ということですよ。今日議決をする必要が有るから今日になったのではないかと思うんですけど、明日に延会とかいう対応だとどうなんでしょうか。

中村総務部長：

柴田委員がおっしゃるように、執行部としてはできるだけ早く事業を進めたいということで、今回提案させていただいておりますけれども、仮に、明日に延会になって、明日議決ということになった場合、担当課にいろいろ確認したんですが、例えばGIGAスクールのほうで、契約について仮契約が済んでいるということで、契約自体に何か大きな問題が生じてしまうとか、あるいは健康課のほうの事業に遅れが生じるとか、そこまでの問題が起きるといったことではないので、1日程度の延会であれば、大きな影響はないということで確認はしております。

古澤委員：

先ほど、事務局長のご説明の中で、会議録が取れるかどうか心配だという懸念をおっしゃいましたけれども、その懸念というのは、非常に絶対的なものですよね。もし、それが非常に心配だということになれば、ここではできないという結論が出てくると思うんですけども。そこ、もう一度ご説明ください。

石井事務局長：

議事録というのは1番大事な文書になりますので、議事録の正確性という部分では、事務局としてはちゃんとした録音設備の整った状況で行いたいというのがございます。

古澤委員：

私は、今日、何とか代替措置を取ってやってしまうことと、明日やることとの労力のプラスマイナスを考えて、どちらか決めればよいと思っておりましたけれども、今、事務局長がおっしゃった会議録の重要性ということを考えますと、もうこれは結論は出て、明日するほうが良いのかなと思いました。

血脇委員長：

先ほど長谷川議長のほうから、明日に延会をするというようなお話がございました。中村総務部長のほうからも、議決に関しては明日でも対応は可能というようなご回答をいただいております。古澤委員のほうからも、議事録の関係等もあるので、明日というのもというようなご意見をいただいたんですが、その他。

田中委員：

先ほどのご説明で行くと、この故障が今日中に直るのか、それとも明日直るのか、来週になっちゃうのか、この辺が全然読めないというようなご発言だと思うんですけども、そうなった場合に、例えば、会議録の問題は当然あるんですけども、本日やるというような形はやっぱり考えられないのでしょうか。

柴田副委員長：

田中委員がおっしゃることも当然考えなくてはいけない場合に、会議録が大事だとおっしゃった。本会議場で会議録をつくるのと、中ホールに行って会議録を作りましょうというのと、作り方に差が生じますか。本会議場で録音して、それを業者に委託して、会議録を作るのと、中ホールでも結局この会議システムは入っていない以上は、録音したものを業者に回すということと、そのことは同じになるのか、精度が違ってくるのかというのがちょっとあるかなと思うので、そこを確認したいんですけど。

石井事務局長：

最終的には録音したものを業者に渡しまして、業者のほうで翻訳をするという形になっています。議場が再開できる見込みが現状経っていない中で、この委員会室で開催することも考えました。ただし、そうなりますと、当然議場の中に入る人数等も制限されることから、今代替案といたしまして、移転前にやっておりました文化会館中ホールの予約状況を確認したところ、空いているという状況でございましたので、一応仮押さえをさせていただいている状況でございます。

柴田副委員長：

そこで確認をしたいんです。中ホールで録音して業者に渡すのと、本会議場で会議システムが使えないにしても今日録音して業者に渡すのと、かなり精度に差が出ちゃって、やっぱ

り中ホールできちんととったほうが良いということになるのかどうか、そこら辺を確認したいんですけれど。

石井事務局長：

文化ホールでは、過去に議会を開催した経験もございますし、音響のために専門の職員さんをつけていただくという形になるそうでございますので、録音体制としては、本会議より格段と上がるのではないかと想定をしております。

血協委員長：

局長のほうからも説明があったんですが、今日、会議システムに不具合が出て、どうするかということなんですが、議長のほうから、明日への延会というようなご発言があったんですけれど、皆さんいかがでしょうか。

石井委員：

なんとなく、皆さん、私分かるんですけれど、できれば今日やっていただきたいという思いがあるんじゃないかなと思うんですよ。何とか策を考えて、今日できないものかと。今日の午後になっても、夕方になってもいいから、時間が遅くなってもいいから、今日予定していたものはやっぱり今日やっていただけないかという思いがあるんじゃないかなと思っています。そこで、会議録のことなんですけれど、専門家がついて録音したほうが無事だという考え方で、要するに録音するもの自体は議場だと IC レコーダーだから、IC レコーダーで録音するんだからちょっと心配なんだという部分だけだったら、議員さんも皆さんも協力して、マイクでがんに大きな声でしゃべるとか、マイクを回すときも、自分で消毒をして、きっちりと回すとか、みんなで今日協力して、何とかできないものかなと思っています。万が一ここでやろうというのなら、議員の半分は控室で待機していて、あるいは外で聞いているということでも、採決の時だけ加わるというふうにしてもできるし、明日に延会という策を最初から練るのではなく、何とか今日できないかという策を皆で考えられないでしょうかね。

血協委員長：

石井委員から、今日再開する方向で何とか策を講じてというご意見ですが。

石井事務局長：

とりあえず、今、録音の設備にはつながっておりませんが、ワイヤレスマイクは2本使えます。それと別に有線のマイクを使えるということで、3本は使えるという形が取れておりますので、ちょっとお時間をいただいて、そのマイクを試してみたいかと思うんですが。

血協委員長：

マイクを試してみたいと局長からありましたので、ここで休憩いたします。

－休憩 10：26－

－再開 10：58－

血協委員長：

会議を再開いたします。まず、事務局長より、現状の状況を報告をお願いいたします。

石井事務局長：

お時間をいただきありがとうございました。今、議場を改めて確認させていただきましたところ、システムは電源が入らない状態ではございますが、録音するレコーダーのほうで電源が入りました。そして、天井についております、收音マイクが生きておりましたので、ワイヤレスマイクの音声を拾って録音することができました。これで、会議を再開することはできると考えております。また、今、業者さんのほうが到着しておりまして、システムを外しまして、議場の外で点検をしておりますので、このまますぐに会議を開いても支障がない状況と判断しております。

血協委員長：

ただいま、事務局長から、会議の継続が可能というようなご説明をいただきました。については、会議の再開時間について、ご意見を伺いたいと思います。

伊藤副議長：

再開は当然なんですけれど、その際に、皆さんにご協力をいただいて、多少不便があると思いますけれども、そういった状況ですが、会議にご協力いただくということを申し添えておいたほうがいいのではないですか。

血協委員長：

それは議運というより、最後に全員協議会があるので、そこは議長のほうからお願いしたいと思っております。伊藤副議長が言われた通りなんですけれども。

再開時間、私のほうから申し上げちゃうのもあれなんですけれども。

柴田副委員長：

そんなに再開がすぐできる状況であれば、すぐに再開で私はいいと思います。執行部のご都合もあるでしょうけれども。

血協委員長：

それでは、15分ぐらいを再開という。

中村総務部長：

暫時休憩ということで、待機はしておりますので、時間を決めていただければ速やかに招集いたします。

血脇委員長：

時間を決めていただければというような、執行部からありましたので、皆さん時間をいかがいたしましょうか。

田中委員：

今、委員長がおっしゃったように15分で結構だと思います。

血脇委員長：

15分という意見が出ましたが、皆さんよろしいでしょうか。それでは、15分再開いたします。それでは、これで議会運営委員会を終了いたします。

－閉会 11：01－